

社会福祉施設における BCP策定の必要性

徳島大学環境防災研究センター
講師 湯浅恭史



発災

30分

1時間

初期
消火

災害
対策
本部
立ち
上げ

退
避
要
否
判
断

YES

行政への連絡
関係機関への連絡・調整
危機広報

NO

事業継続可否判断へ

判断に必要な情報を収集する

3時間



事業継続可否判断

YES

NO

選択と集中

今後必要となる資源見積り
資源確保の連絡・調整
継続体制の検討（受援含）
地域内での連携・共助

必要な支援の依頼（受援）

今後を見据えて先手を取る

災害医療のCSCATTT

組織体制	C	Command & Control 指揮命令・統制	機関内のタテの指揮命令とヨコの統制を素早く確立することが迅速な医療活動のために重要
	S	Safety 安全	自分自身・現場・スタッフや患者等の3つの安全が確保できなければ安全な医療活動はできない
	C	Communication 意思疎通・情報収集、伝達	使える手段を駆使して、現状把握、機関内や関係機関との情報収集、伝達を行い、意思疎通を図る
	A	Assessment 評価・判断	病院や現場の状況、被災地の状況、他施設の状況などを勘案。現状を評価し、判断する
医療支援	T	Triage トリアージ	災害現場、病院来院時、広域搬送時に被災者のトリアージを行い、治療等の優先順位を決める
	T	Treatment 治療	トリアージで決まった優先順位により、傷病に見合った、その場で最適な治療を行う
	T	Transport 搬送	現場や病院の状況を考慮し、必要な広報搬送・広域搬送を行う

6時間



方針決定

全職員への方針発表
当面の目標・スケジュール共有
資源の確保
必要な支援の依頼（受援）
地域内での連携・共助
関係機関への連絡・調整

組織内で方針・目標・スケジュール
を共有し、必要な対応を行う

行動チェックリスト（例）

部門 防災・災害対応チーム

目標（完了状態）	人命の安全確保、施設避難要否判断がなされている	目標時間	1時間	<input type="checkbox"/>
----------	-------------------------	------	-----	--------------------------

No.	アクション項目（目的）	アクションの実施手順（具体的内容）	必要なリソース	担当者（指示者）	所要時間	累積時間	完了確認
①	避難・安否確認 災害対策本部立上と役割分担	災害対策本部立ち上げ指示 ・災害対策本部設置場所の決定、対策本部用資機材の調達 ・災害対策本部立ち上げた旨の通達	・対策本部用資機材・場所リスト ・資機材調達責任者 ・持出品リスト	本部長		30分	<input type="checkbox"/>
		本部職員への役割分担とタイムライン提示 ・必要な役割の確認、本部要員の役割指示 ・災害情報の把握（TV、ラジオ等から災害情報を確認）	・役割分担表、タイムライン ・本部要員の能力適正リスト ・TV、ラジオ	本部長			<input type="checkbox"/>
		通信・連絡手段の確保、連絡要員の配置 ・院内の連絡手段の確保 ・（想定連絡手段利用不能の場合）代替連絡手段手配	・通信・連絡手段 ・無線（代替連絡手段） ・情報連絡員（リエゾン）、自転車	災害対策本部			<input type="checkbox"/>
		所属部署単位での職員及び利用者の安否確認結果を報告 ・各部署の指定避難場所にて安否確認後、結果を本部へ報告 ・（津波警報発令時）全体避難場所（3階以上）へ避難	・点呼チェックリスト、出通勤リスト ・利用者リスト ・安否確認報告様式	各部署リーダー			<input type="checkbox"/>
		デイサービス利用者・地域住民の避難誘導 ・受付履歴によるデイサービス利用者の安否確認 ・地域住民は指定避難場所（〇〇小学校）へ誘導 ・（津波警報発令時）4階〇〇ルームへ誘導	・外来受付リスト ・避難ルートマップ ・地域住民受け入れ基準 ・受入者用の記入リスト	避難・誘導			<input type="checkbox"/>
		施設外職員の安否確認 ・安否確認メールの一斉送信	・安否確認システム ・安否確認取りまとめ様式	避難・誘導			<input type="checkbox"/>
②	人命安全確保 怪我人対応・避難者安全確保	救護班の設置 ・施設内負傷者発生状況等の情報収集・共有、救護班への役割指示 ・救護場所の決定、救護用品の準備	・本部要員の能力適正リスト ・救護場所・救護用品リスト ・救護用品準備責任者	救護・救援		1時間	<input type="checkbox"/>
		閉じ込め・下敷きからの救出 ・安全確保のうえ、救出機材により救出 ・エレベーター、倉庫などの危険箇所の確認	・防護用品（ヘルメット等） ・救出機材（バール、照明等） ・院内見取り図	救護・救援			<input type="checkbox"/>
		備蓄品の確認と管理 ・食料、水、物資等の備蓄品の確認 ・備蓄品管理体制の確立と必要な備蓄品の配布	・備蓄品リスト ・備蓄品管理体制	救護・救援			<input type="checkbox"/>
③	災害対応 緊急対応・外部支援・受援	災害対応班の設置 ・必要資機材の準備 ・災害対応人員の確保	・必要資機材リスト ・職員リスト	災害対応			<input type="checkbox"/>
		外部機関との連絡調整 ・警察、消防との連絡調整 ・行政、社協、地域の他施設からの情報収集、連絡調整	・連絡先リスト ・通信・連絡手段 ・ホワイトボード（クロノロジー用）	災害対応			<input type="checkbox"/>

行動チェックリスト（例）

部門 事業継続チーム

目標（完了状態） 事業継続対応方針が決定されている

目標時間

6時間

No.	アクション項目（目的）	アクションの実施手順（具体的内容）	必要なリソース	担当者（指示者）	所要時間	累積時間	完了確認
⑤	被害状況確認 現状の機能、復旧見込み	建物の被害確認 ・建物の被害状況の確認 ・二次災害の防止（立入禁止区域の設置等）	・建物確認チェックリスト ・立入禁止区域表示 ・ロープ	施設・設備		3時間	<input type="checkbox"/>
		ライフラインの被害・復旧見込み確認 ・ライフライン設備の修理、復旧の可否確認 ・診療再開の可否についての検討、問題点のリスト化	・ライフライン設備確認チェックリスト ・メーカー・保守連絡リスト ・診療再開問題点リスト	施設・設備	<input type="checkbox"/>		
		システム・データの被害・復旧見込み確認 ・PC・サーバー等の正常動作確認、データ使用可否確認 ・（必要であれば）バックアップでの対応確認	・システム・データ確認チェックリスト ・メーカー・保守連絡リスト ・バックアップ復旧手順書	施設・設備	<input type="checkbox"/>		
		機器の被害確認 ・機器の修理、復旧の可否確認 ・事業再開の可否についての検討、問題点のリスト化	・機器確認チェックリスト ・メーカー・保守連絡リスト ・事業再開問題点リスト	施設・設備	<input type="checkbox"/>		
		物資等の在庫状況の確認 ・物資等の在庫状況確認 ・今後必要となる物資等の見積り	・在庫チェックリスト ・今後必要な物資等のリスト	戦略立案	<input type="checkbox"/>		
		事業継続の可否判断 ・これまで集めた情報の分析 ・事業を継続することの可否判断	・情報整理シート	本部長	<input type="checkbox"/>		
⑥	外部状況確認	地域の被災状況確認 ・地域の被災情報を収集し、集約する ・今後の福祉需要の見込み	・緊急時連絡先リスト ・情報連絡員（リエゾン）	戦略立案		3時間	<input type="checkbox"/>
		インフラ等の様々な周辺情報収集 ・インフラ状況の把握 ・行政・保健所の対応状況 ・社協、地域内の他施設の対応状況 ・交通・道路の通行状況把握	・インフラ確認チェックリスト ・緊急時連絡先リスト ・情報連絡員（リエゾン） ・ホワイトボード（取りまとめ用） ・地図	戦略立案	<input type="checkbox"/>		
		物資メーカー等の被災状況確認 ・物資メーカーの被災状況確認 ・物流の状況確認	・取引先リスト ・物流業者リスト	戦略立案	<input type="checkbox"/>		
⑦	危機広報	情報発信 ・災害時情報共有システムへの入力（第1報）と情報収集 ・ウェブサイト・SNSでの広報（第1報）	・災害時情報共有システム入力手順書 ・通信ツール・PC ・広報文面の案	災害対策本部		3時間	<input type="checkbox"/>

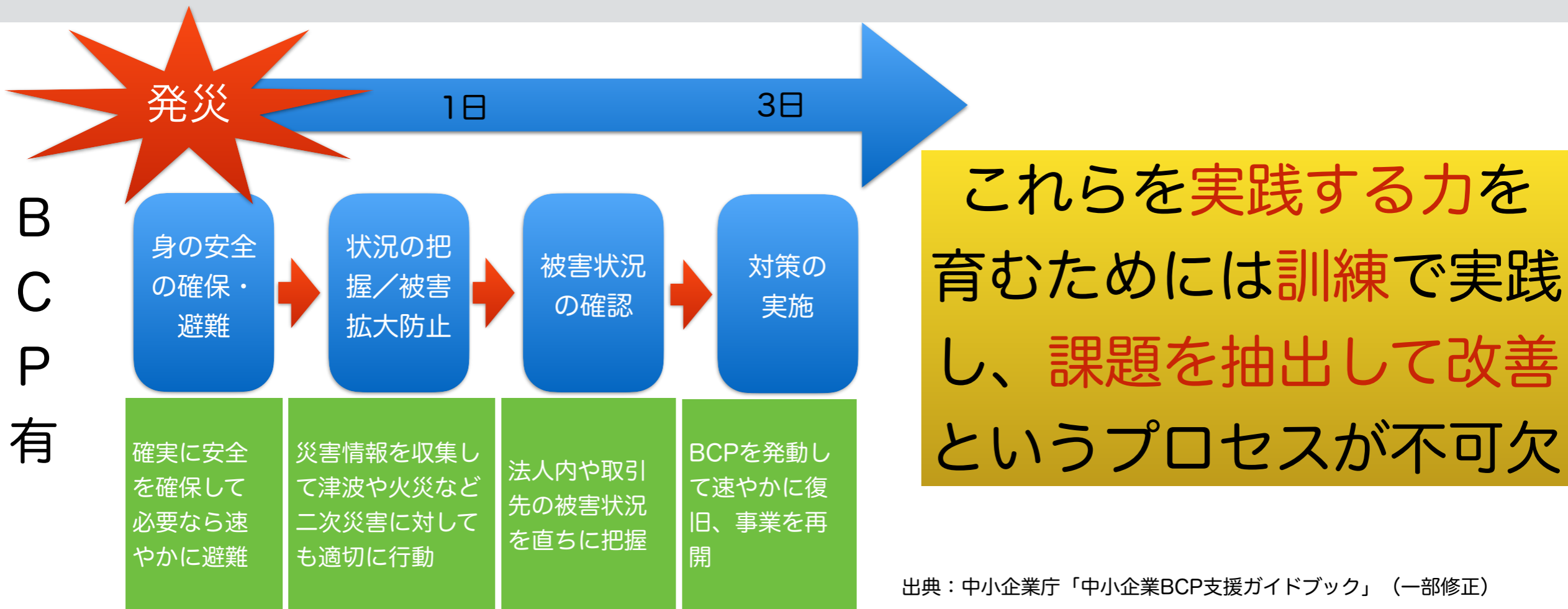
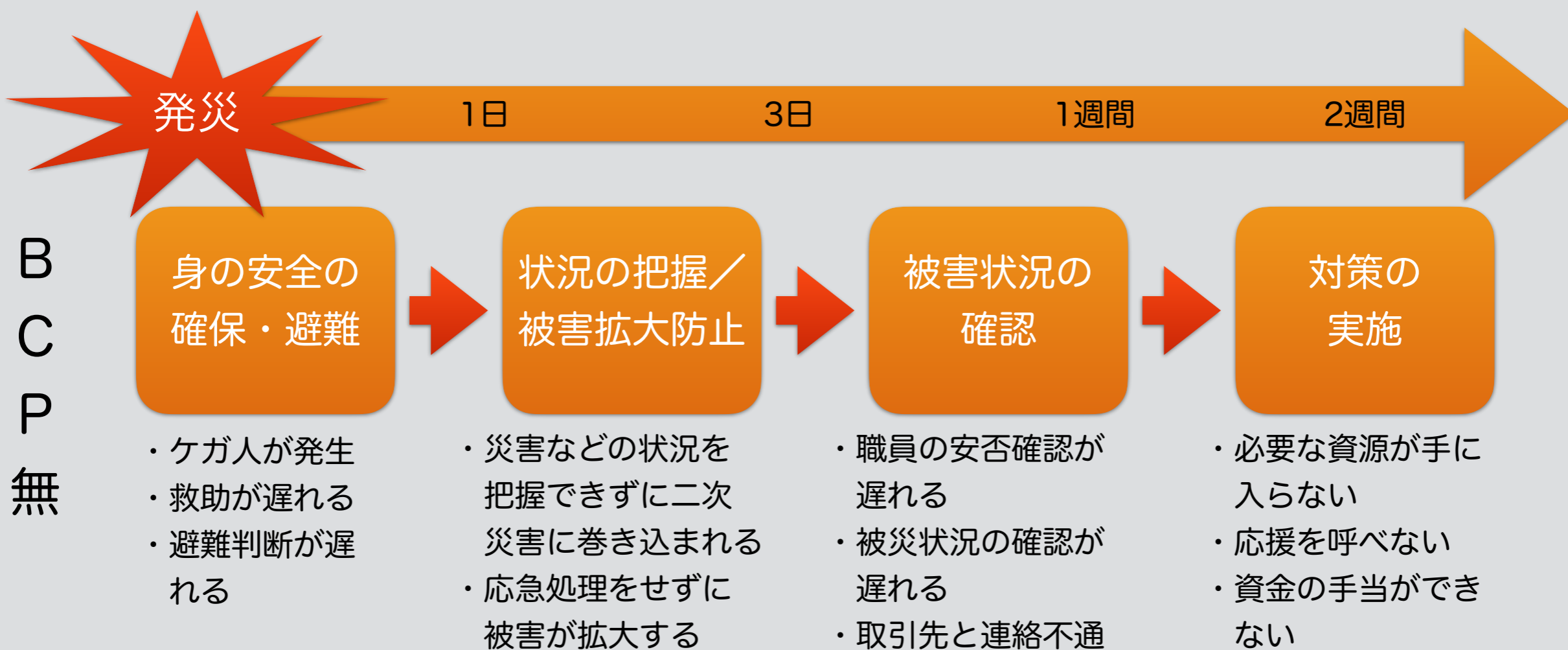
課題管理表 (例)

課題管理表

部署	
役職	
氏名	

※事前対策区分…H：ハード、S：ソフト、T：トレーニング

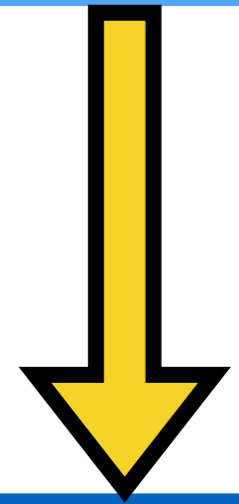
記入日付	No.	課題区分	優先順位	事前対策区分	現状と課題		事前対策	解決区分と担当者		対策実施状況等	
					現状	課題		解決区分	担当者	対策実施区分	対策実施・未実施の理由、内容等
(記入例) 2023年 月 日	1	1.建物・施設 2.設備・備品 3.システム 4.組織・体制 5.行動ルール 6.その他	1	H	病棟の耐震性がわかっていないので、地震の際、病棟が安全かわからない	病棟の耐震性が不明(総務にて確認中) 旧耐震建物の明確化が必要	建物耐震診断の実施	1.個人で解決できる課題 2.自分の所属部署で解決できる課題 3.他部署で解決すべき課題 4.全体で解決すべき課題 5.院外でなければ解決できない課題 6.その他	(部署名) (担当者)	確認日 (年 月 日) 1.対策済 2.対策開始 3.対策中 4.対策保留 5.対策せず 6.その他 ()	
年 月 日		1.建物・施設 2.設備・備品 3.システム 4.組織・体制 5.行動ルール 6.その他						1.個人で解決できる課題 2.自分の所属部署で解決できる課題 3.他部署で解決すべき課題 4.全体で解決すべき課題 5.院外でなければ解決できない課題 6.その他	(部署名) (担当者)	確認日 (年 月 日) 1.対策済 2.対策開始 3.対策中 4.対策保留 5.対策せず 6.その他 ()	
年 月 日		1.建物・施設 2.設備・備品 3.システム 4.組織・体制 5.行動ルール 6.その他						1.個人で解決できる課題 2.自分の所属部署で解決できる課題 3.他部署で解決すべき課題 4.全体で解決すべき課題 5.院外でなければ解決できない課題 6.その他	(部署名) (担当者)	確認日 (年 月 日) 1.対策済 2.対策開始 3.対策中 4.対策保留 5.対策せず 6.その他 ()	



組織としてどうあるべきか
(ミッション) の検討



具体的手順の検討と整理
(BCP・マニュアル等作成)



是正・改善

課題・改善点の解決
とマネジメント

振りかえり

課題・改善点等の
抽出と共有

訓練中心の

PDCAサイクル

訓練企画

課題を抽出するため
の訓練企画の検討

訓練実施

検討した手順等の
実行可能性の確認



訓練の種類（例）

訓練の目的	名称・実施方法等
BCP・マニュアル等の 内容の理解促進	ウォークスルー（読み合わせ） BCP・マニュアル等に基づき、役割分担、手順等の確認 を机上訓練や研修形式で行う
手順書・マニュアルの 習熟促進	反復訓練（ドリル） 重要な動作等を繰り返して行うことで身につける実働訓 練。安否確認訓練、避難訓練、消火訓練、災害対策本部 立上訓練などがある
代替要員の事前育成・ 確保	クロストレーニング 欠員が出た場合に代替を可能とするため、他の業務担当 者とお互いに相手方の業務を訓練する
事業継続能力の確認・ 向上及び意思決定の ための訓練	災害模擬演習（モックディザスター） 模擬的に緊急時を想定した状況下において、判断・対応 や意思決定を行う

訓練の種類と位置づけ

訓練目的	対応フェーズ				
人命安全確保 二次災害防止 (防災)	直前	初動対応	応急対応～復旧		
	<ul style="list-style-type: none"> 警報発令時対応訓練 緊急事態宣言発令時対応訓練 テロ予告時対応訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部設置訓練 避難訓練 通信訓練 安否確認訓練 負傷者救護訓練 災害模擬演習訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 受入先調整訓練 施設避難（搬送）訓練 帰宅困難者対応訓練 帰宅判断対応訓練 参集訓練 		
事業継続 (BCP)	直前	初動対応	被害情報収集	BCP発動 (意思決定)	復旧・代替対応
	<ul style="list-style-type: none"> 警報発令時資源安全確保訓練 緊急事態宣言発令時業務形態変更訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部設置訓練 二次災害防止訓練 安否確認訓練 通信訓練 建物被害確認訓練 重要資源持ち出し訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 設備被害情報収集訓練 利用者等被害情報収集訓練 被害情報整理・分析訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 必要情報整理訓練 対応方針決定訓練 危機広報訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 復旧対応訓練 代替対応訓練

社会福祉法人モデル事業研修会

BCP訓練 (池田博愛会)



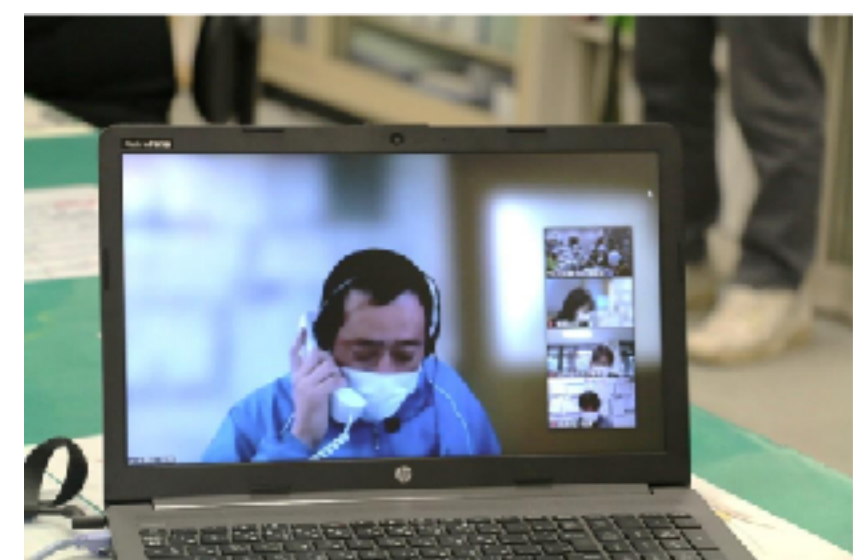
職員安全確保訓練



情報収集訓練



情報集約訓練



法人内調整訓練



代替拠点移転訓練



訓練後のふりかえり

訓練企画・実施時のポイント

- ・ 困っていることや心配なことは貴重なヒント。それらをテーマにした訓練を考えて、試してみる！
- ・ 何のための訓練かを考え、目的や目標を明確にする
- ・ 参加者による振りかえりを必ず行い、課題を抽出して、少しでも改善につながればOK！



災害時アクションカードを 活用した初動対応訓練

場 所	医療法人安田歯科（徳島県阿波市）
日 時	平成26年7月16日 12時～12時50分
内 容	南海トラフ巨大地震が発生したことを想定し、院長、スタッフ2名で地震発生から1次避難完了までの「初動対応」について「災害時アクションカード」を活用した訓練を実施した。
目 的	<ul style="list-style-type: none">・ 訓練による参加者の気づき、意識啓発・ 仮作成した「災害時アクションカード」のブラッシュアップ・ 当医療法人での初動対応の高度化
ポイント	<ul style="list-style-type: none">・ 初動30分の各スタッフの対応を整理・ お客様とスタッフの安全確保・ 確実な1次避難の完了・ 次の対応を判断するための情報収集



災害時アクションカードとは

現場のリーダー

1. 周囲の安全を確認し、事故状況を把握します

- 自分がリーダーであることを大声で宣言する
- 現場周囲が安全か確認する（異臭、道路上、興奮する生徒など）
- 事故の状況を目撃者より確認する

2. アクションカードを配布します

- 119番通報カードを渡す（現場から第2報をさせる）
- AEDの手配カードを渡す（手配の確認、なければ指示する）
- 手当ての責任者カードを渡す（養護教諭等）
- 周囲の生徒の対応カードを渡す
- 記録カードを渡す

3. 職員室に状況を報告します

- 携帯電話で傷病者の状況、活動状況を職員室に報告する

4. 救急車を現場に誘導します

- 救急車誘導カードを渡す（複数の職員で対応）
- 状況が分かる職員を指名し救急車へ同乗させる

- 災害時の行動を促し、判断を導く、活動の事前指示書を導く、活動の事前指示書
- 保持した人が行う具体的な行動を列挙
- 「使う」ことを考えて作成し、訓練等で実際に使って改善をする

初動対応でやらなければならないこと



いかに早く・適切に実施するか？



役割分担

誰がやるのか
責任者は誰か
権限の移譲



時間軸

いつまでにするのか
具体的手順の検討
実現の可能性



具体的手順

時系列の整理
実行可能な手順
必要な資源の整理

災害時アクションカードの活用

災害発生から診療再開へ



各歯科医院での初動対応を適切かつ迅速に行うことがその先の診療再開のために重要な要素だと考える

【災害時に発生する業務】

検死業務

被災者ケア業務

歯科医師会業務

地域貢献・連携業務

【診療再開への取り組み】

現地復旧戦略

代替戦略

その他の戦略

初動対応の重要性

【初動対応での最優先課題】

患者様・職員の生命の安全確保



適切かつ迅速な対応が求められる
(特に初動30分間で具体的に誰が何をするか)



しかし、歯科医院では
人的資源に限りがあり、
初動対応のBCPへの記載
も限定的

適切かつ迅速な初動対応を
実現するためには、
「災害時アクションカード」
とそれを活用した訓練の実施
が有効である

初動30分の災害時アクション カードでの役割分担

MISSION

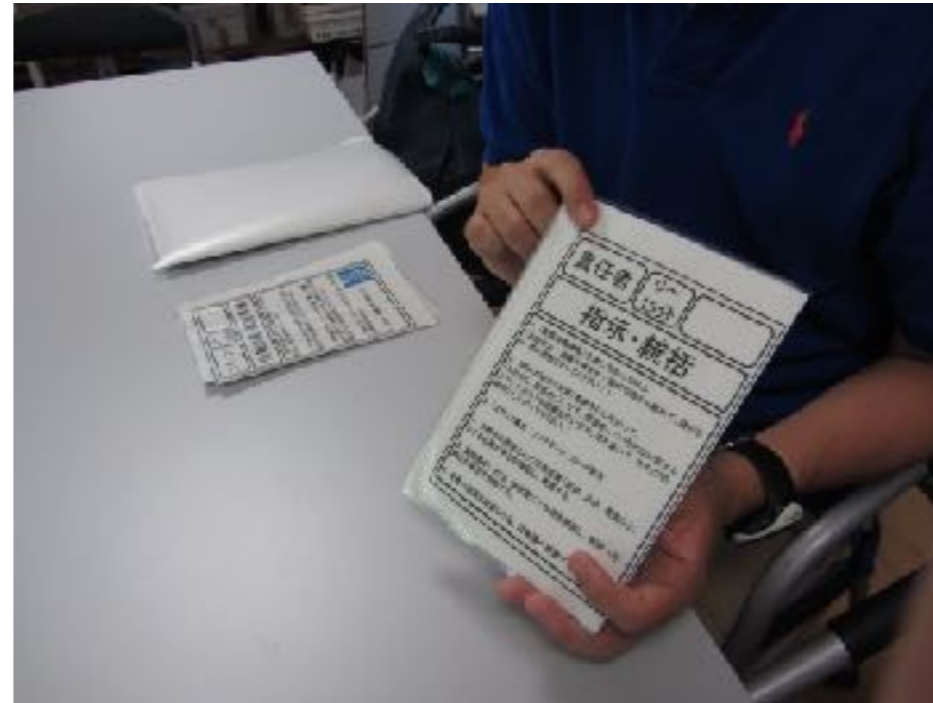
30分間で1次避難を完了し、次の行動に必要な情報を収集する

	責任者	スタッフ1	スタッフ2
0~15分	<p>責任者 0~15分</p> <p>指示・統括</p> <p>1. (緊急警報受信)全員に向かって大声「治療中止!地震が発生!建物や窓から離れて、固まり、低い姿勢をとってください!」</p> <p>2. (揺れが収まり次第)患者さんに向かって、「みなさん、院長の〇〇です。怪傷をしている方はいませんか?これから1次避難を行います。落ち着いて スタッフの指示にしたがってください。」</p> <p>3. 「スタッフ氏名!」一アクションカード配布</p> <p>4. 治療中の患者さんに応急処置(仮固定、止血、薬塗など)をする必要があるか確認し、実施する。</p> <p>5. 重傷者がいれば、待合室にて状況を確認し、病院への搬送の要否を判断する。</p> <p>6. 全員の避難を確認した後、駐車場へ移動する。</p>	<p>スタッフ1 0~15分</p> <p>1次避難・誘導</p> <p>1. 駐車場までの避難経路(通常出入口)が確保されているか、歩いてみて確認(危険箇所をチェック)する。</p> <p>2. 患者さんに向かって、手を挙げながら、「スタッフの〇〇です。これから駐車場へ避難します。スリッパをしっかりと履いてください。」</p> <p>3. 責任者の応急処置完了後、大声で、「私についてきてください。」と宣言し、自力で避難可能な患者さんと一緒に、駐車場へ避難する。 ※自力での避難が不可能な患者さんは責任者へ依頼</p> <p>4. 移動後、患者さんの様子を確認し、情報を聞き取ってメモする。(薬歴リストに処方箋/シラケ) □名前 □住所 □連絡先(複数) □怪傷の有無等</p> <p>5. 避難後、責任者へ完了報告する。</p>	<p>スタッフ2 0~15分</p> <p>初期消火・二次災害防止</p> <p>1. 消火器を持つ(※消火器場所〇〇)</p> <p>2. 火の元を確認。必要があれば初期消火を行う。 (※完了後「火災なし」又は「初期消火完了」の発声)</p> <p>3. PCや機械の電源をオフにする。 □1階受付PC □作業室PC □機械A □機械B</p> <p>4. 落下しそうなものや倒れそうな機材を確認し、「〇〇が危険です!」と声かけし、二次被害防止措置(下ろしていただく)と表示(右図)をする。</p> <p>5. フレーカー、ガス検知、水漏れ検知の閉鎖を確認し、駐車場へ避難する。(※各元栓等の場所)</p> <p>6. 責任者に完了報告する</p>
16~30分	<p>責任者 15~30分</p> <p>応急処置・統括</p> <p>1. 患者さんに向かって、情報・状況を説明し、「状況が落ち着くまで、帰宅することは危険が伴います。これから診療所の状況を確認しますので、この場でお待ちください。また、ご家族への連絡については、スタッフもサポートいたしますので、必要な方はお申し出ください。」</p> <p>2. 診療所建物の被害状況確認を指示する。</p> <p>3. 患者さんの希望(帰宅、避難所、家族の迎え)を聞きながら、落ち着かせる。</p>	<p>スタッフ1 15~30分</p> <p>建物被害確認</p> <p>1. 建物被害チェックリスト(裏面)により、建物被害のチェックを行う。</p>  <p>2. 責任者に結果を報告する。</p>	<p>スタッフ2 15~30分</p> <p>搬送・責任者補助</p> <p>1. 病院へ搬送する必要がある負傷者を搬送する □内科 ○〇病院(地図・ルート) □外科 ○〇病院(地図・ルート) □眼科 ○〇眼科(地図・ルート) ※負傷者の保険証コピーを持ち、搬送した先で付き添い、家族への連絡を行う。状況は逐次メール又は災害伝言ダイヤルで責任者に連絡する。</p> <p>2. 負傷者の搬送がなければ、責任者の補助をする。</p> 

訓練の様子 1



1. 訓練内容について事前説明



2. 訓練で使った災害時アクションカード



3. 院長もOKで訓練開始！



4. 治療中の患者さん役のスタッフ



5. 突然、緊急地震速報が！



6. 医師の指示により安全姿勢をとる

訓練の様子 2



7. スタッフが避難経路を確認



8. 「これから避難します！」



9. 安全な駐車場へ誘導



10. 建物の状況を確認中



11. 消火器を持って火元確認



12. 訓練で気づいた危険箇所



13. 「ブレーカーはここ！」



14. 訓練に満足(?)な院長

訓練での気づき 1

院長の気づき

時間帯によって患者さんの属性が異なるため、その対応も検討しておく必要がある

避難する時に「こちらです！」などの具体的な声掛けが必要

危険箇所を事前に確認しておき、年に数回、チェックする仕組みが必要

工具等は効率面だけでなく防災の視点も入れて、置き場所をルール化する必要がある

スタッフ1の気づき

患者さんへの声掛けを具体的に決めておく

子供さんやお年寄りへの対応も事前に検討しておく必要がある

チェックリストがあると冷静かつ迅速に対応ができて便利

定期的に訓練を行い、各自の対応を確認しておくことが有効

スタッフ2の気づき

アクションカードは各チェアサイドに置いておく。A5サイズだと白衣に入って便利

負傷者用のチェックリストを準備しておくことで迅速に対応できる

患者さんへの対応マニュアルやデータ（電話、保険証等）を整理しておけば良い

帰宅困難な人への対応をどうするか検討しておく必要がある

患者役の気づき

緊急地震速報時に指示がなければ、どのように動いたらいいのかわからなかった

避難時に自分の荷物をどうすれば良いかわからなかった

避難開始前（避難経路確保時）にどこで待機をすればいいのか

器具など危険なものも多く、子供や車椅子の患者さんへの対応を事前に検討しておくべき

訓練での気づき 2

観衆の気づき

全員が各自の役割は
もちろん、全体として
どう動くのかを知って
おく必要がある

歯科医院には危険な物
がたくさんあるが、特
に自分がいる技工室が
一番危険だと思った

通路を確保しやすいよ
うな物の配置や整理を
考える

ガス元栓やブレーカー
まわりを常にキレイに
しておく



私の気づき

避難経路確保するた
めのモップのような棒
があれば良い

歯科医院は動線が多
く複雑なのでアクシ
ョンカードは複数準
備しておく

「見える化」を普段
の業務から取り入れ
て、整理や効率化を
目指す

アクションカードを
活用した訓練は個別
のアクションを全員
で確認した後、全
体訓練すると良い

アクションカードを活用し、実際に訓練をやることで、様々な「気づき」を得ることができた。

→ 「気づき」を改善へつなげていくことによりレベルアップ！

訓練での改善点

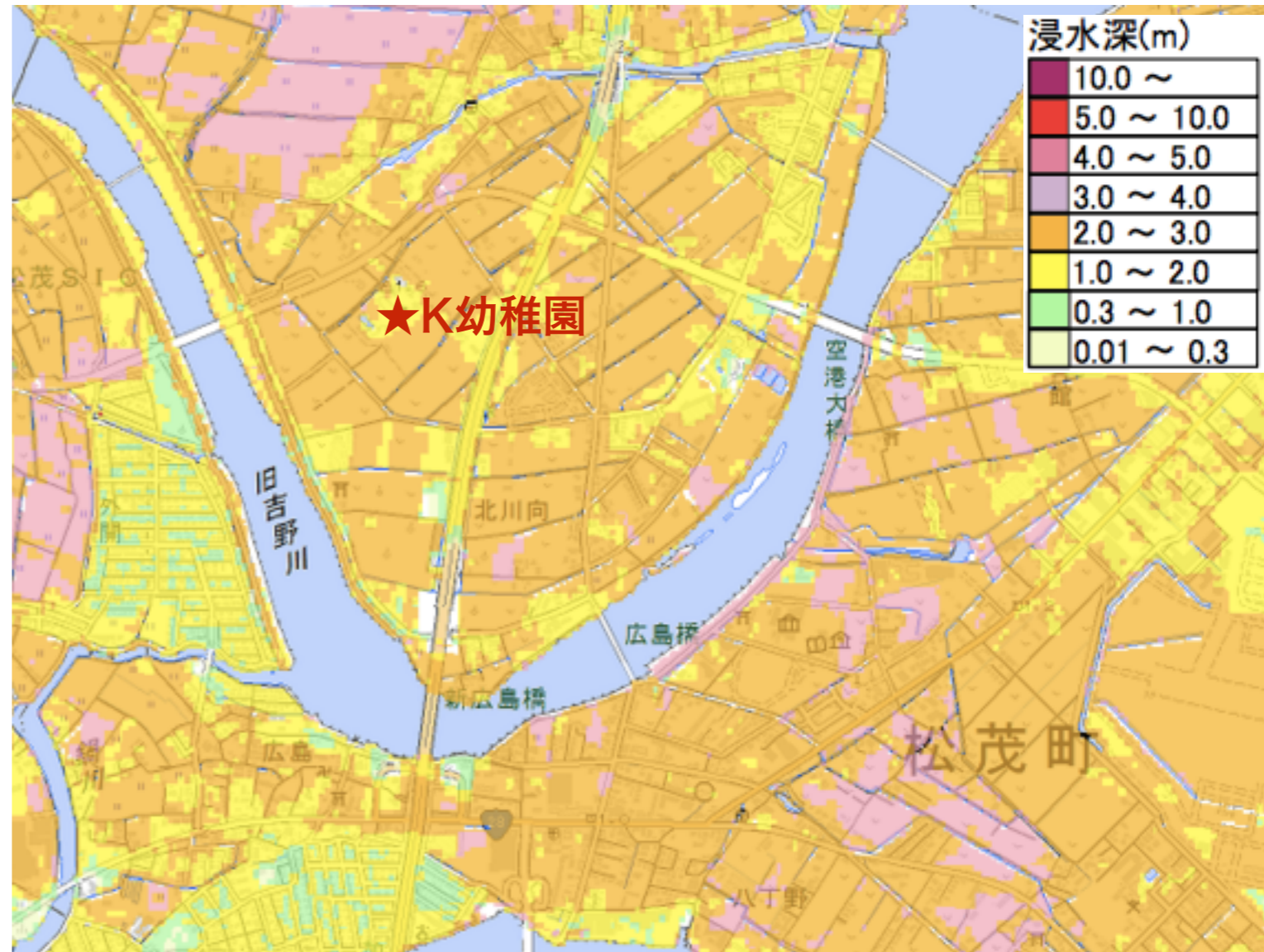
改善点	具体的な内容
0次避難の場所	0次避難の場所（1次避難前の避難場所）が訓練時に課題となったが、「レントゲン室前」が構造上、強固で安全確保しやすいことからこの場所に決定
工具等の整理・整頓のルール化	工具等を効率的な観点だけでなく、防災の観点からも見直しを行い、危険箇所はないか定期訓練の前にチェックすることとした
避難時の人員配置	人員配置について見直しを行い、0次・1次避難時に、患者さんだけにしないように付き添うスタッフ（役割）を追加した
患者さんの特性に応じた対応の検討	今後、子供や車椅子の患者さんが多い時間帯を想定した訓練を実施し、問題点・課題の洗い出しと改善をしていくこととした

訓練のまとめ

- 「災害時アクションカード」を活用することで人的資源が限られる歯科医院でも、迅速かつ適切な対応をとることが可能となる
- 定期的に訓練を実施し、問題点・課題の抽出、それらを改善する方法の検討を行い、次回の訓練でチェックすることにより、初動対応の高度化が実現する
- 「災害時アクションカード」と「訓練」による改善のサイクルを継続していくことが重要

徳島県松茂町立K幼稚園

- ・ 徳島県板野郡松茂町の西部
- ・ 職員8名、園児79名
(平成26年度)
- ・ 想定される震度は6強
- ・ 想定される浸水深は約2m
- ・ 隣接するK小学校に避難
- ・ 松茂町東部・津波影響開始時間 (-20cm) 18分
- ・ 松茂町東部・津波最大波到達時間 61分



幼稚園としてどうあるべきか
(ミッション) の検討

具体的手順の検討と整理
(災害時アクションカード作成)

是正・改善

課題・改善点の解決
とマネジメント

振りかえり

課題・改善点等の
抽出と共有

訓練企画

課題を抽出するため
の訓練企画の検討

訓練実施

検討した手順等の
実行可能性の確認

訓練中心の
PDCAサイクル



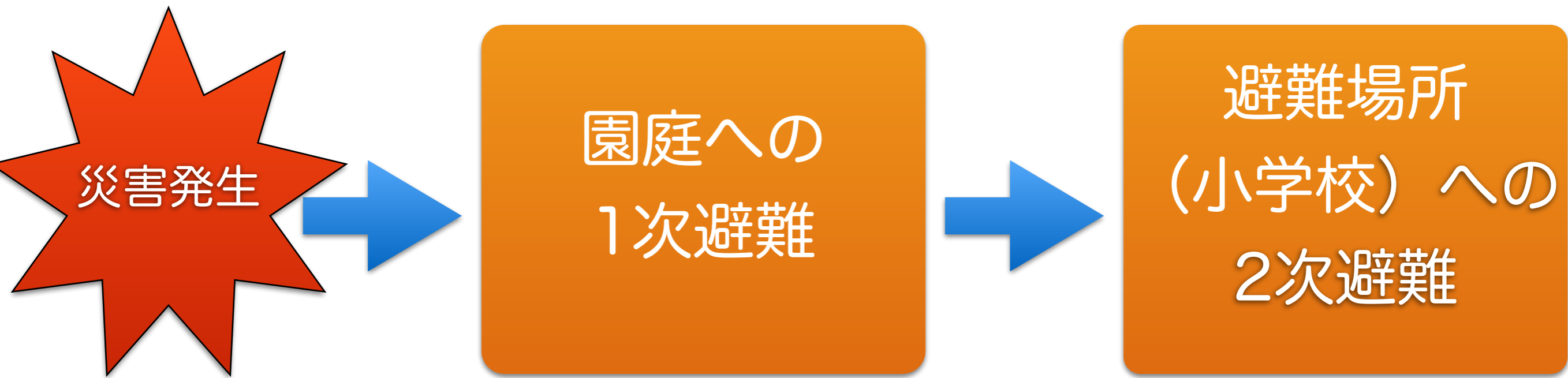
ミッションの明確化

MISSION

幼稚園として必ず実現するべきこと

- 全員で共有すべき価値観
- 可能であれば時間軸も含めて考える
- 迷ったときに判断基準となり得る

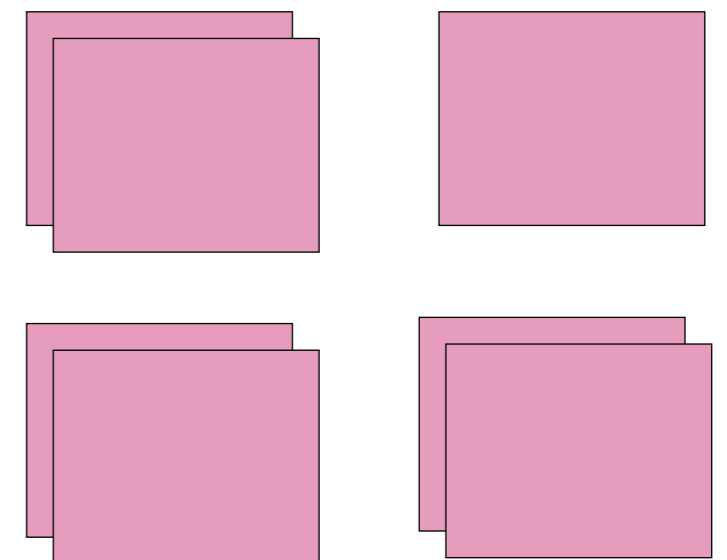
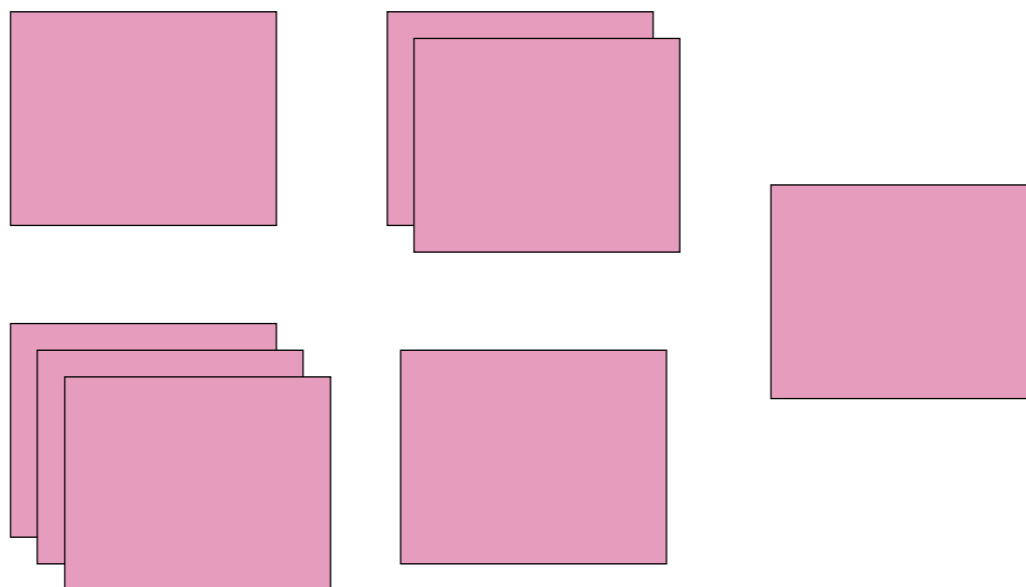
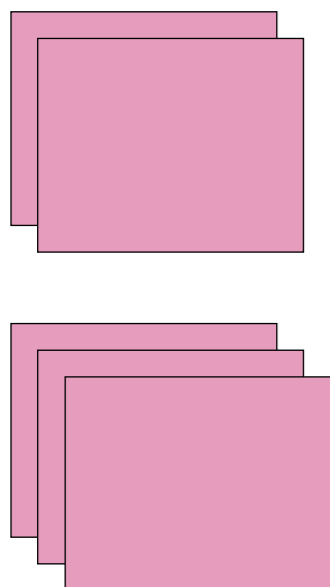
災害発生から避難完了までのフロー



【発生時】

【1次避難時に行う業務】

【避難場所で行う業務】



ミッションの検討と具体的対応

MISSION

30分以内に児童及び職員が安全な避難が
実現していること

園庭への1次避難

避難場所への2次避難

災害
発生

【発生時】
安全確保

【1次避難時】
児童・教職員の安否確認
負傷者の救護
避難場所の決定
持ち出し品の準備

【避難場所】
情報収集・分析
情報発信（危機広報）
児童・教職員の安全管理
保護者への引き渡し

対応手順の検討と整理 (災害時アクションカードの作成)

**【担任①】地震・津波避難
アクションカード**

< くま >

人数確認
落ち着いて避難

【緊急地震速報】
1 安全姿勢

机の脚をもって 怖くないよ 落ち着いて

2 カーテンを閉めて, 出口を確保

【揺れが収まったら】
園庭への移動

水筒 防災頭巾 うわぐつのまま

・廊下の出席簿・非常持ち出し袋・クラス出席簿

【園庭では】

○全クラス人数・けが確認 欠席者・園外保育

○避難経路指示 ①外階段 ②中央階段 ③プール側

○退去前 最終確認 幼児・職員

【裏へ】

**【担任②】地震・津波避難
アクションカード**

< つくし >

人数確認
落ち着いて避難

【緊急地震速報】
1 安全姿勢

机の脚をもって 怖くないよ 落ち着いて

2 カーテンを閉めて, 出口を確保

【揺れが収まったら】
園舎の確認

遊戯室 → 絵本の部屋 → 職員トイレ → 年少トイレ
→ 預かりトイレ → 職員室 → 預かり保育室 → 玄関

【園庭では】

○人数・けが人の報告

○第二先遣隊 ①外階段 ②中央階段 ③プール側
→ 状況報告

【避難先では】

○人数確認とケガの確認

チェックするポイント

訓練の流れ



チェックポイント

1. 良かったところ 良いなと思ったり、真似したいと思ったこと
2. 改善が必要なところ 直したほうが良いこと、もっと良くできること
3. 疑問に思ったところ なぜそうするのかわからない、疑問なこと

取り組みによる成果

- ・ 訓練を中心としたPDCAサイクルが回っており、地震発生時の安全確保から、避難場所及びルートの確認、迅速な避難 行動について、職員の対応が明確にされた
- ・ 児童も緊急地震速報からの初動行動への対応が向上しており、自発的に安全確保を行うことができるようになってきている
- ・ 園外保育や遠足時にも事前に避難場所やルートを確認したり、園内の備品管理方法を再検討するなど、これまでにない安全配慮がなされるようになった

訓練

スキル

危機対応能力

(判断力、行動力等)

危機対応能力の強化

事前対策

ハード

被害軽減策

(設備機材等)

ソフト

対応計画

(役割・ルール等)

BCP

課題管理表

社会福祉法人〇〇〇〇 課題管理表

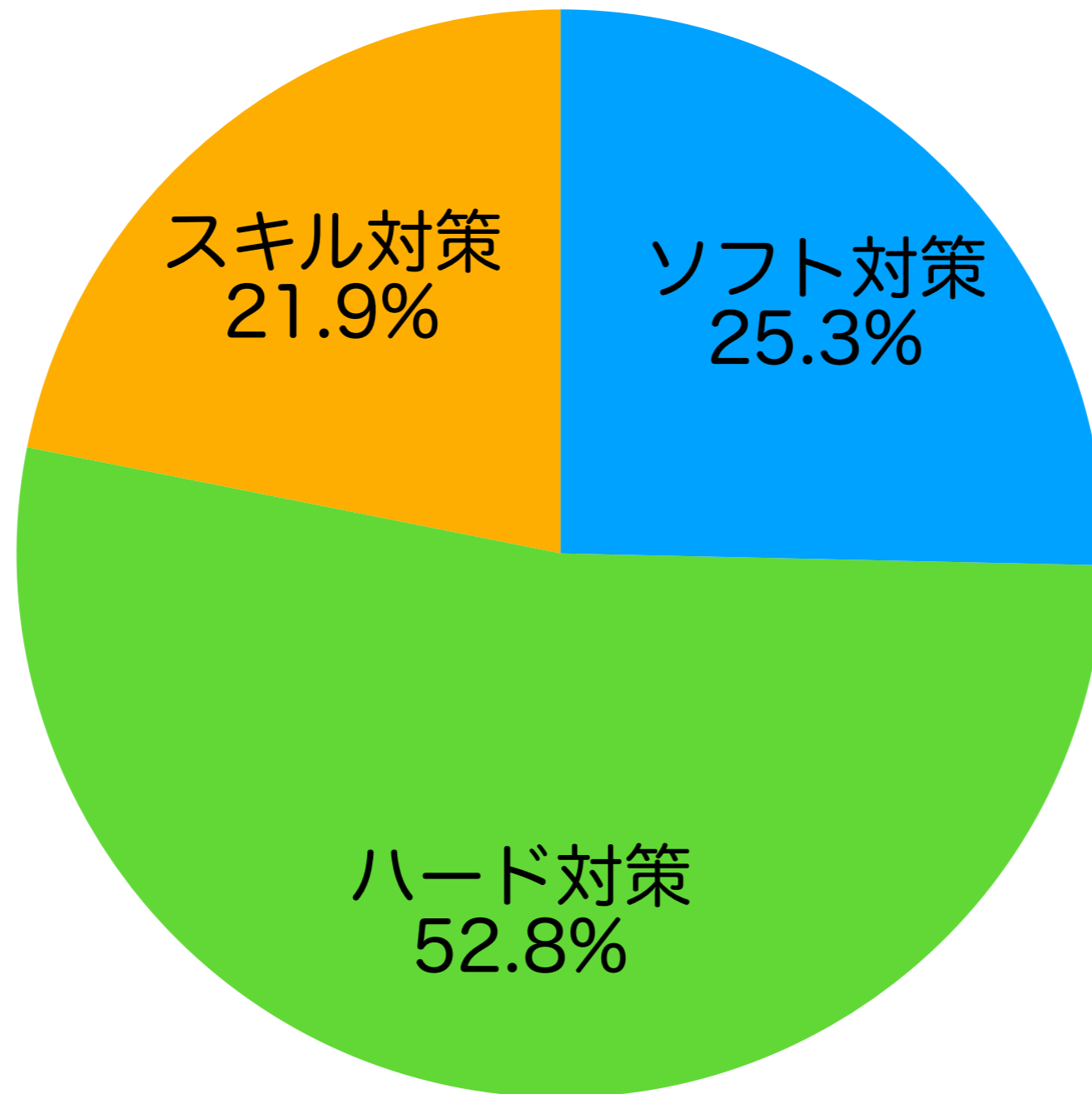
部署	
担当者	

No.	記入日	課題区分	優先順位	現状課題(脆弱性)	放置することによる影響	必要な事前対策	解決区分と担当者		対策進捗管理	
							解決区分	担当者	対策実施区分	対策実施・未実施理由、内容等
	2020年 月 日	1.建物・施設 2.設備・備品 3.システム 4.組織・体制 5.行動ルール 6.その他					1.個人で解決できる課題 2.自部署で解決できる課題 3.他部署で解決すべき課題 4.全法人で解決すべき課題 5.法人外で解決すべき課題 6.その他()	[部署名] [担当者]	確認日(年 月 日) 1.対策済み 2.対策中 3.対策保留 4.対策せず 5.その他()	
	2020年 月 日	1.建物・施設 2.設備・備品 3.システム 4.組織・体制 5.行動ルール 6.その他					1.個人で解決できる課題 2.自部署で解決できる課題 3.他部署で解決すべき課題 4.全法人で解決すべき課題 5.法人外で解決すべき課題 6.その他()	[部署名] [担当者]	確認日(年 月 日) 1.対策済み 2.対策中 3.対策保留 4.対策せず 5.その他()	
	2020年 月 日	1.建物・施設 2.設備・備品 3.システム 4.組織・体制 5.行動ルール 6.その他					1.個人で解決できる課題 2.自部署で解決できる課題 3.他部署で解決すべき課題 4.全法人で解決すべき課題 5.法人外で解決すべき課題 6.その他()	[部署名] [担当者]	確認日(年 月 日) 1.対策済み 2.対策中 3.対策保留 4.対策せず 5.その他()	
	2020年 月 日	1.建物・施設 2.設備・備品 3.システム 4.組織・体制 5.行動ルール 6.その他					1.個人で解決できる課題 2.自部署で解決できる課題 3.他部署で解決すべき課題 4.全法人で解決すべき課題 5.法人外で解決すべき課題 6.その他()	[部署名] [担当者]	確認日(年 月 日) 1.対策済み 2.対策中 3.対策保留 4.対策せず 5.その他()	
	2020年 月 日	1.建物・施設 2.設備・備品 3.システム 4.組織・体制 5.行動ルール 6.その他					1.個人で解決できる課題 2.自部署で解決できる課題 3.他部署で解決すべき課題 4.全法人で解決すべき課題 5.法人外で解決すべき課題 6.その他()	[部署名] [担当者]	確認日(年 月 日) 1.対策済み 2.対策中 3.対策保留 4.対策せず 5.その他()	
	2020年 月 日	1.建物・施設 2.設備・備品 3.システム 4.組織・体制 5.行動ルール 6.その他					1.個人で解決できる課題 2.自部署で解決できる課題 3.他部署で解決すべき課題 4.全法人で解決すべき課題 5.法人外で解決すべき課題 6.その他()	[部署名] [担当者]	確認日(年 月 日) 1.対策済み 2.対策中 3.対策保留 4.対策せず 5.その他()	
	2020年 月 日	1.建物・施設 2.設備・備品 3.システム 4.組織・体制 5.行動ルール 6.その他					1.個人で解決できる課題 2.自部署で解決できる課題 3.他部署で解決すべき課題 4.全法人で解決すべき課題 5.法人外で解決すべき課題 6.その他()	[部署名] [担当者]	確認日(年 月 日) 1.対策済み 2.対策中 3.対策保留 4.対策せず 5.その他()	
	2020年 月 日	1.建物・施設 2.設備・備品 3.システム 4.組織・体制 5.行動ルール 6.その他					1.個人で解決できる課題 2.自部署で解決できる課題 3.他部署で解決すべき課題 4.全法人で解決すべき課題 5.法人外で解決すべき課題 6.その他()	[部署名] [担当者]	確認日(年 月 日) 1.対策済み 2.対策中 3.対策保留 4.対策せず 5.その他()	
	2020年 月 日	1.建物・施設 2.設備・備品 3.システム 4.組織・体制 5.行動ルール 6.その他					1.個人で解決できる課題 2.自部署で解決できる課題 3.他部署で解決すべき課題 4.全法人で解決すべき課題 5.法人外で解決すべき課題 6.その他()	[部署名] [担当者]	確認日(年 月 日) 1.対策済み 2.対策中 3.対策保留 4.対策せず 5.その他()	
	2020年 月 日	1.建物・施設 2.設備・備品 3.システム 4.組織・体制 5.行動ルール 6.その他					1.個人で解決できる課題 2.自部署で解決できる課題 3.他部署で解決すべき課題 4.全法人で解決すべき課題 5.法人外で解決すべき課題 6.その他()	[部署名] [担当者]	確認日(年 月 日) 1.対策済み 2.対策中 3.対策保留 4.対策せず 5.その他()	
	2020年 月 日	1.建物・施設 2.設備・備品 3.システム 4.組織・体制 5.行動ルール 6.その他					1.個人で解決できる課題 2.自部署で解決できる課題 3.他部署で解決すべき課題 4.全法人で解決すべき課題 5.法人外で解決すべき課題 6.その他()	[部署名] [担当者]	確認日(年 月 日) 1.対策済み 2.対策中 3.対策保留 4.対策せず 5.その他()	

徳島県内社会福祉施設等の 災害対応力の現状

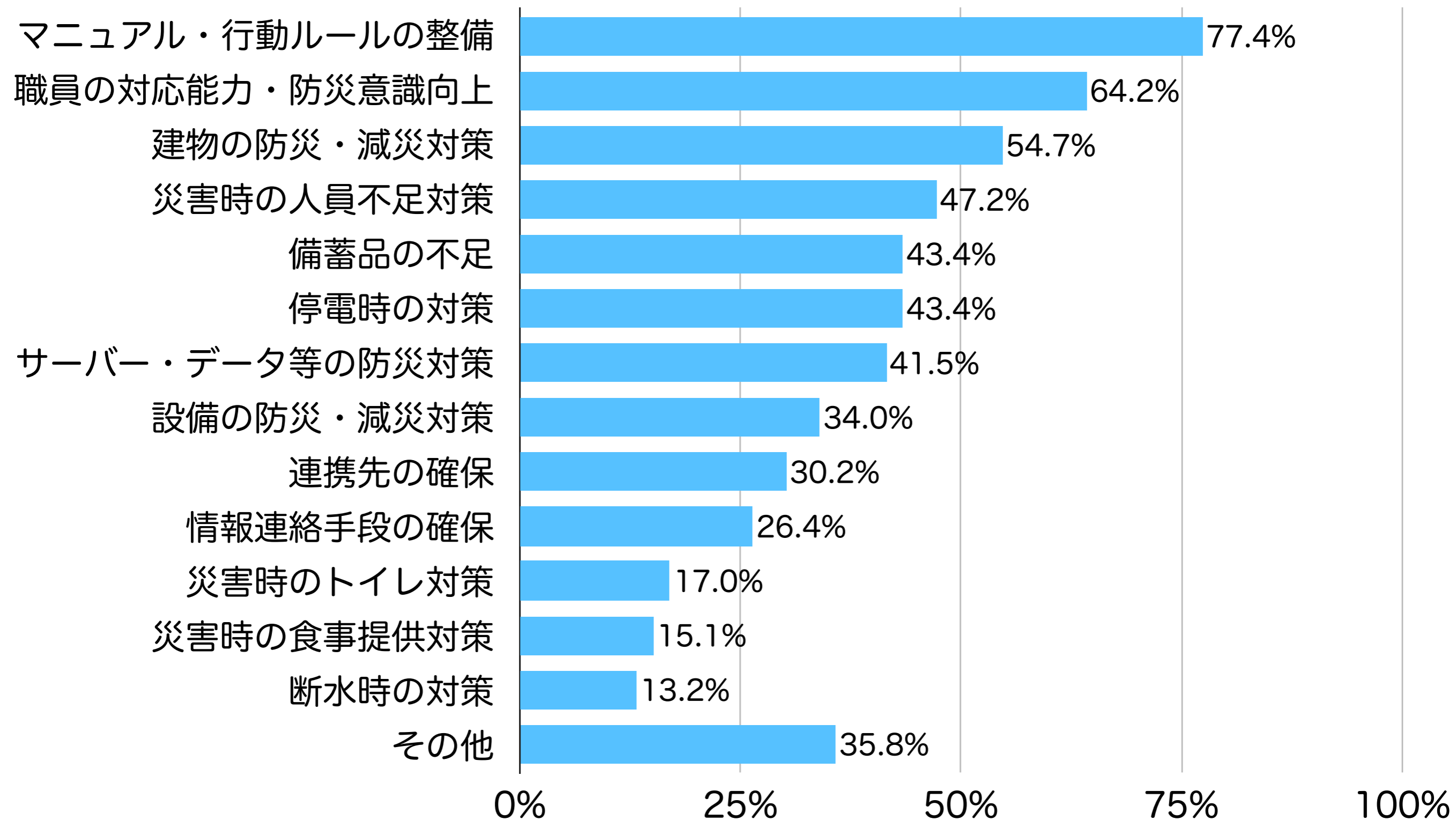
- ・ 提出課題の「課題管理表」から、BCP策定・運用の過程で抽出された課題（46法人53施設・合計288件）の分析を行うことで、徳島県内における社会福祉施設等の災害対応力の現状を明らかにする
- ・ 288件を「ソフト対策」「ハード対策」「スキル対策」に分類すると「ハード対策」が52.8%となり、特に地震の揺れに対する施設・設備の脆弱性を指摘するものが多かった
- ・ 「マニュアル・行動ルールの整備」（ソフト対策）が7割以上、「職員の対応能力・防災意識向上」（スキル対策）が6割以上の施設で課題として挙がっており、組織全体での対応まで進んでいないことがわかる

課題管理表で抽出された288件の課題分類



ハード対策が課題の半数を超える
→特に地震対策を不安視している

課題管理票への記載内容詳細分類 (n=53)



ソフト対策・スキル対策は多くの施設で抱える課題